

令和 6 年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
女性の活躍

女性農業経営者が持続可能な中山間地農業を実現

○氏名又は名称 株式会社 穂々笑ファーム（代表 堀内 由希子）

○所 在 地 岡山県赤磐市

○出 品 財 経営（水稻）

○受 賞 理 由

・ 地域の概要

赤磐市は岡山県の南東部に位置し、温暖な気候と肥沃な農地を活用して、水稻をはじめ桃、ぶどうなどの果樹、野菜などの栽培が行われているが、狭小な農地が多く、農家の高齢化や担い手不足により耕作放棄地の増加が懸念される中山間地域である。

・ 受賞者の取組の経過と経営の現況

（株）穂々笑ファームは、酒米「雄町」の生産を中心に、冬季の雇用確保のため、加工・業務用キャベツの栽培を行い、水田の有効活用に努めている。両作目で GAP 認証を取得するとともに、防除用ドローンの導入による軽労化を図っている。

・ 受賞者の特色

（１）中山間地域の持続的生産活動

堀内氏は非農家からの参入であったが、自身の持つコミュニケーション能力を活かし、地域の信頼を得て農地を拡大・集約した。冬季の水田ではキャベツや白菜の栽培を行い、農業機械の汎用利用や農地の有効利用に努めるとともに、年間を通じた雇用を創出している。防除用ドローンの導入により、高齢農家からの防除も受託し営農継続を支援している。

（２）酒米によるブランド化

堀内氏は、JA 晴れの国岡山赤坂特産雄町米研究会の副会長として、酒米でのグローバル GAP 認証を取得し、食品安全・労働環境・環境保全に配慮した持続的生産活動を牽引するとともに、酒米で新たな日本酒を開発しブランド化を図っている。

（３）女性の活躍

堀内氏は、女性の雇用を契機に、事務所のトイレの改修やオートマチック仕様のトラックを導入するなど女性も働きやすい環境を整備し、中山間地域農業を支える岡山県内で類のない女性の大規模稲作経営者として活躍している。また、県農業普及指導センターと連携して地域の新規就農者に助言を行うなど、地域の指導的立場としても活躍している。

・ 普及性と今後の発展方向

中山間地域農業を支える農業経営体として地域からも期待されており、機械の汎用利用による省力化や防除用ドローンの導入など中山間地域に適するスマート農業のあり方を追及し、地域のトップライダーとして、関係各機関と連携しながら、未来ビジョンをもち持続的に地域農業を支えていく方針である。